

▼今月の「ポピー」の国語で学習するおもな内容と大切なことがらです。

□の数字は、教科書のページ数です。

2年 どんぐり

□ 78~85

●どんぐりと動物の関係について書かれた
説明文です。

●読み取ったことを図や表にして、どんぐりと動物の関係を考えます。

【秋】ミズナラの木にどんぐりがなる。

●熟して落ちたたくさん
のどんぐり。

●リスやネズミたちが、
巣穴にため込んだど
んぐり。

●巣穴に入りきらず、
地面に浅く埋められたどんぐり。



【春】

●浅く埋められたどんぐりで、食べ忘れ
られただけが芽を出した。

1年 めだかの ぼうけん

□ 62~71

●季節によって変わるめだかの暮らしにつ
いて書かれた説明文です。

●季節ごとのメダカの様子を読み取ります。

【春】

●田んぼに川から水が入り、めだかが集
まってくる。…

【田植えが始まるころ】

●田んぼで卵を産む。

【夏の盛り】

●田んぼの浅瀬で、元気に泳ぐめだかの
赤ちゃんが見られる。

季節ごとに
カードにまとめて
確かめるよ。



4年 さわっておどろく

□ 78~86

●視覚障害者である筆者の体験を通して書
かれた説明文を読み、事実と筆者の考え
を読み取ります。

1 博物館で働いていて気付いたこと。

博物館・美術館は「見る場所」である。

だれもが楽しめる、全ての人に開かれ
た「ユニバーサルミュージアム」へ。

2 「さわる」展覧会の企画。

「見る文化」

⇨特徴を学び合おう。

「さわる文化」

さわることの楽しさ、
「さわっておどろく」
体験を筆者はみんな
に伝えたいんだね。



3年 冬眠する動物たち

□ 84~91

●冬眠する動物たちについて書かれた説明
文です。動物たちの冬眠の様子や生きる
ための知恵を読み取ります。

【外温性動物】

●まわりの温度に体温を合わせる動物。
冬は動きやすい体温を保てない。

カエル・ヘビ・トカゲ・カメ など

【内温性動物】

●自分で体温を保つ動物。えさを十分に
することができない時期に冬眠する。

シマリス…ときどき起きて食べる。
クマ・ヤマネ…なにも食べない。

表や図にまとめて
比べてみるよ。



6年 その日、ぼくが考えたこと

□ 96~109

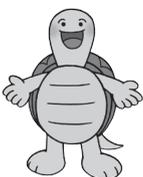
●六年生の男の子が、誕生日という特別な
日に、「幸せ」について考える物語です。

●夕食時のテレビで、事故にあった男の
子やアフリカのやせた女の子のニュー
スを見たとき。

●大家族のスペシャル番組を見たとき。
●食後の散歩中、飼い犬との別れを考え
たとき。

「事故にあった男の子は、それまで幸せ
だったらいいな。アフリカの女の子も
笑っていてくれたらいいな。」

みんなそれぞれに、
幸せだと思ってるの
も持っているのかも
しれないね。



5年 「一本」から見える数え方の世界

□ 60~69

●「日本語の数え方」について書かれた説
明文です。

◎助数詞「一台」「一本」「一まじ」

【何を「本」と数えるか】

●棒のような形の長いもの。

●電車の数。

●得点につながるプレイ。など

【「本」の時代による変化】

●千年以上前…草や木の数。 「本」

その後、細長いものの数。 「本」

江戸時代…くじの当選数。

明治時代…電話(回線)など、細長い印
象を与えるものの数。

「本」⇨長いイメージを与える助数詞